



2014年2月21日(金)～

3月6日(木)の活動

○ 会員懇談会

2月26日(水) 福井市

平成25年度会員懇談会(福井会場)を開催し、会員約60名が出席した。

懇談会では、永原会長の挨拶の後、「産学官連携によるイノベーションの創出と企業間連携の支援」および「北陸新幹線金沢開業後の観光戦略」の2つのテーマについて自由懇談が行われた。

続いて双日総合研究所副所長の吉崎達彦氏が、「2014年の経済情勢」と題して講演した。

吉崎氏からは、実質GDPや雇用者数などの具体的なデータをもとに、2014年の国内外の経済の見通しと見極めのポイントなどについて講話いただいた。最後に、「ものづくりの日本と言われているが、これからは、観光といった感動を売る商売も重要になるのでは」と締めくくった。

(担当:大嶋)

○ 湘南・北陸ウィーク

2月22日(土)～28日(金) 鎌倉・藤沢市

22日から湘南・北陸地域の連携によるイベント「湘南・北陸ウィーク」を開催した。

22日は神奈川県江ノ島電鉄を貸切り、北陸トレイン「北陸うまいもの号」―北陸甘いモン・スイーツ列車―を開催し、北陸のスイーツを振舞いながら北陸の魅力をPRした。貸切り電車は、鎌倉―藤沢駅間の約10kmを約1時間10分かけて往復。鎌倉駅での出発式では、松尾鎌倉市長、鈴木藤沢市長、深谷江ノ島電鉄社長、小田北経連広域観光推進委員長らがテープカットを行った。電車には応募で当選した方を含め総勢60名が乗車。金沢の吉はしの上生菓子や富山のおわら玉天、福井の羽二重くるみなど北陸の10種類のスイーツを抹茶とともに楽しんだ。また、23日まで鎌倉駅構内に北陸物産ブースを出展した。

24日から26日は、藤沢市内のパスタ専門店であと健康に関心をお持ちの女性向けにトークショーを開催。石黒種麴店(富山県南砺市)石黒八郎氏が「麴が決め手、中から美しく」、七尾市昆布海産物産「しら井」の白井洋子氏が「美しさは海藻がつくる」、元星陵大講師の谷本互氏が「健康にも美容にも良い福井の酒と発酵食」、料理研究家の緋宮葉那氏が、「映画〈武士の献立〉にみる北陸の食文化の豊かさ」と題し、北陸の食のすばらしさをアピールした。

(担当:吉井)

○ 中部・近畿経産局との懇談会

3月3日(月) 富山市

第20回中部・近畿経済産業局との懇談会を開催し、経済産業局からは、山本中部経済産業局長をはじめ9名、当会からは、当会役員28名が出席した。

永原会長は、安全が確認された原子力発電所の早期再稼働と、原子力発電所を「重要なベースロード電源」と位置付けた政府のエネルギー基本計画案を「評価したい」としたほか、北陸新幹線金沢開業を契機とした北陸の産業発展について挨拶した。

当会からは、水口常任理事が、「産業振興」について、杉野理事から「国際経済交流」について、活動報告を行った。

自由懇談では、「産学金官連携」、「産業競争力強化」、「企業誘致」、「北陸・韓国経済交流会議」、「ASEAN諸国との経済交流」、「国際ビジネス人材の育成」などについて意見交換した。

(担当:前田)

○ 国際交流推進委員会

2月28日(金) 金沢市

平成25年度第2回国際交流推進委員会、北陸AJEC企画部会を合同開催し、国際交流推進委員会6名、北陸AJEC企画部会委員20名が出席した。

江守委員長、山村企画部会委員長の挨拶後、事務局から「北陸AJEC-アジア経済研究所連携研究報告書の取纏め状況について」「ASEAN(メコン地域・南部経済回廊)視察報告について」「外国人留学生、グローバル人材の育成に関する取組み結果について」を報告し、それらを踏まえて「北陸経済連合会・北陸AJEC H26年度事業計画(案)」について意見交換を行った。

また、「第5回 Otagai Conclave in 北陸の開催結果」について報告した。

(担当:石村)

今後の主な活動予定

□ 4月21日(月)

第325 常任理事会

<場所:金沢ニューグランドホテル>

□ 5月16日(金)

平成26年度 定期総会

<場所:ホテル日航金沢>